

いざというときに助けとなるのはご近所の力！

自治会・自主防災組織に加入しよう！

災害が発生したとき、その規模が大きければ大きいほど、市役所、消防、自衛隊など、いわゆる公助の力は不足して、市民一人ひとりにまで、すぐに支援が行き届かないことが予測されます。

そんなときに助けとなるのは、ご近所・地域の力です。

自治協力団体（自治会）、自主防災組織は、あなたの安全を守る一番身近にある組織です。

災害時の活躍

①東日本大震災

市内すべての自治協力団体が中心となり、迅速な安否確認や被害状況調査、市からの情報の伝達を行なっていただくなど、地域の結束力が十分に発揮されました。



②令和元年台風第19号

- ・ 地域の仲間で声を掛け合い、車に乗り合いで自主的に広域避難（栄東自主防災会）
- ・ 全ての住民への避難の声かけ（安否確認）を実施（佐波自主防災会）



防災ラジオの先行配布



防災行政無線の放送が聞こえる防災ラジオを無償貸与します。

希望する全ての世帯に貸与しますが、受注生産のため、製造ができたものから順次配布します。

配布順は、①水害時に避難の必要性が高い区域（北川辺地域・大利根地域・大越地区・樋遣川地区・種足地区）、②自治協力団体（自治会・区）加入世帯を先行して配布します。

Q なぜ、一度に配布しないのですか？

A 工場の生産能力には限りがあり、全47,000世帯分の生産が終了するのは、令和2年12月の予定のため、生産できたラジオから順に配布します。

Q 配布の順番はどのような考えから決めたのですか？

A 防災ラジオは、特に水害時に細やかな情報を提供することで、被害の軽減に役立つものと考えており、令和元年台風第19号で避難情報を発令した地域を先行して配布することとしました。なお、風水害時には、防災行政無線が聞き取りにくい状況にあることも考慮しています。

また、避難を行う上では自治協力団体・自主防災組織による共助の力が必要となりますので、自治協力団体を經由した申請を原則として、加入者を先行的に配布することとしたものです。

自治会への加入を希望される方へ

この機会に自治会への加入を希望される方は、お住いの自治会の会長さんや班長さんにご相談ください。『自分の地域の自治会がわからない』『会長の連絡先と住所を知りたい』などのお問い合わせにつきましては、市役所市民協働推進課または各総合支所地域振興課までご連絡ください。